令和6年度 第4回 庄内学園学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月17日（月） 14時00分～15時50分
- 2 開催場所 庄内学園 会議室
- 3 出席委員 日置宇津広 佐藤眞悟 佐藤和彦 木村裕子 山中千恵子
徳増祐志 後藤いづみ 日置 覚 荻 靖義 宮本優子
- 4 欠席委員 徳田義盛 山本真哉
- 5 学 校 石田直美（校長） 今田和幸（教頭） 横山勝之（教頭）
中嶋恵美（主幹教諭） 古橋美樹（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 古橋美樹（CSディレクター）
- 8 議長の選出 議長の選出については、第1回の会議にて会長から今年度は徳増委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認している。
- 9 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
 - ・育てたい子供像について
 - ・いじめ防止基本方針について
- (2) 次年度の学校運営基本方針について
- (3) 学校運営協議会自己評価について

10 会議記録

司会の中嶋より 委員総数12人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係評価について

中嶋より資料1に沿って説明があり、委員より次のような質問があった。

Q:いつから同じ項目でアンケートを取っているのか？（徳増委員）

A:昨年度から同じ項目で行っている。（中嶋）

議長の指示により育てたい子供像についてグループに分かれ協議を行い、次のような発言があった。

グループA：佐藤眞、佐藤和、木村、山中 B：後藤、日置覚、荻、宮本
C：日置宇、徳増

A：学校教育目標そのものが庄内未来研究所の活動となっている。

子供たちがしたいことをするのが特徴であり、楽しく学ぶのにこれほど素敵なものはない。ポットナム同様庄内学園の伝統になるとよい。（佐藤和委員）

B：子供たちが主体的に取り組み、地域との関わりがあったためアンケート④の児童生

徒の回答（そう思う）が増えたと思われる。

ダンスフェスティバルは、はじめは心配だったが自分たちで考え関わっていける様子が見られてよかった。達成感のようなものを感じられた。

不安を感じる子にどのようにフォローしていくのが課題。

庄内未来研究所の各課がどんな活動しているのかを、もっと地域や家庭に周知してもらうために、どのように伝えていくか考えたい。（宮本委員）

→協働センター祭りやフラワーパークのイベントで各課の活動内容を記したものを掲示した。（徳増委員）

C：アンケート③では児童・生徒と教員・保護者に差がある。

内に秘めている子が多いのではないか。（地域の特徴なのか？）子供たちが頑張っているアピールをしていけたらよい。

小中一貫校らしい学校教育目標である。

ダンスフェスティバルでは、スタート時は大丈夫？と思ったが発表時には素晴らしいものになっていた。

引き続き学校にできる支援、学校がしてほしい支援を考えていけたら。（日置宇委員）

（2）次年度の学校運営基本方針について

次年度の学校運営基本方針について、石田校長より資料2に沿って説明があり全員意義なくこれを承認した。

また石田校長より、庄内学園スポーツ・文化支援本部（仮称）設置計画案、中学校部活動の地域移行による今後の流れについて説明があり次のような発言があった。

- ・引き続き、小中一貫校のよさを生かした学校運営を推進してほしい。（多数）
- ・平日と休日の指導者が変わってしまうと、子供たちは戸惑ってしまうのではないか。顧問との連携が必要。（徳増委員）
- ・市で取り組んでいる地域もあるようだが、浜松市は学校・地域で人材を探さないといけないので大変そうである。（荻委員）

（3）学校運営協議会自己評価について

学校運営協議会自己評価について資料3に沿って日置会長より説明があった。

11 その他の報告・連絡事項等

夢育やらまいか事業の事業報告書について横山教頭より説明があった。

中嶋より学校支援ボランティア活動報告、コサージュづくりボランティア募集、研修会開催についてお知らせがあった。

令和7年度の会議日程（案）について連絡があった。